《解答書》

1 0

第2章 複素数平面 2・平面図形と複素数

1 平面図形と複素数(その6)

(1/4) ■ 等式の表す図形① ■

方程式の表す図形(1)-基本

- ★知識の整理★ -----

絶対値を含む等式の表す図形について考えてみよう。

【基本的な考え方】…「絶対値は距離を表す」ということ。

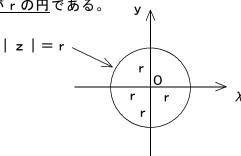
(例)
$$|3| = 3, |-5| = 5$$

 $|5-3| = 2, |3-5| = 2$

絶対値を含む等式の表す図形は、次の3つの基本タイプがある。

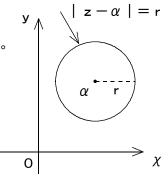
[1] |z| = r

意味: |z-O|=rと考える。「zとOの距離がrである」という意味を表す。 よって、この式が表す図形は、中心が原点で半径がrの円である。

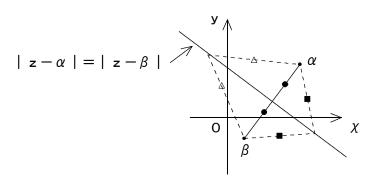


[2] $|z-\alpha|=r$

意味:「zと α の距離がいつでもr」という意味を表す。 よって、この式が表す図形は、中心が α で、半径がrの円である。



[3] $|z-\alpha| = |z-\beta|$



《解答書》

O

第2章 複素数平面 2・平面図形と複素数

平面図形と複素数(その6)

(2/4) ■ 等式の表す図形① ■

◇《方程式の表す図形(1) - 基本》 学力化 → / ,

─★解法の技術★ -

次の方程式は、複素数平面上で、どのような図形を表すか。

(1) |z| = 3

(2) |z - (1 - 2i)| = 1

(3) |z+i| = 5

- (4) |z-2| = |z-i|
- (5) |z| = |z (2-i)|
- (6) |z+2i| = |z+1-i|

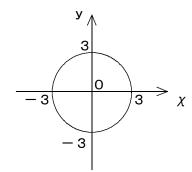
[考える手順]

[答

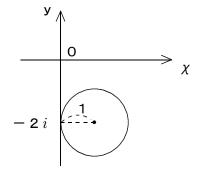
- (1) タイプ[1] (2) タイプ[2]
- (1) |z| = 3

案]

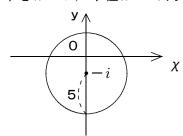
中心が原点、半径が3の円



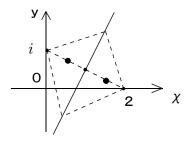
(2) |z - (1 - 2i)| = 1中心が1-2i. 半径が1の円



- (3) タイプ[2]
- (4) タイプ[3]
- (3) |z+i| = 5|z - (-i)| = 5中心が-i, 半径が5の円

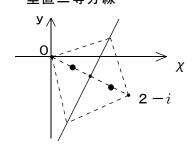


(4) |z-2| = |z-i|2点2, iを結ぶ線分の 垂直二等分線



- (3) タイプ[3]
- (4) タイプ[3]
- |z-0| = |z-(2-i)|原点と2-i を結ぶ線分の

垂直二等分線



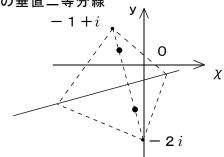
(5) |z| = |z - (2-i)| (6) |z + 2i| = |z + 1 - i|

$$|z - (-2i)|$$

= $|z - (-1 + i)|$

2点-2i と-1+i を結ぶ線分

の垂直二等分線



ブラウザのバック矢印で前の文書に戻って下さい。

《解答書》

1 0

第2章 複素数平面 2・平面図形と複素数

1 平面図形と複素数(その6)

(3/4) ■ 等式の表す図形① ■

- ◇《方程式の表す図形(1) -基本》 学力化 → / ,

次の等式を満たす点zの全体は、どのような図形を表すか。

(1)
$$|z+1| = |z-i|$$

(2)
$$|z| = 2$$

(3)
$$|z+1-i| = \sqrt{2}$$

(4)
$$| 2z - 4 | = 6$$

[考える手順]

[答 案]

(1)
$$|z+1| = |z-i|$$

 $|z-(-1)| = |z-i|$
2 点 - 1, i を結ぶ線分の垂直二等分線

(3)
$$|z+1-i| = \sqrt{2}$$

 $|z-(-1+i)| = \sqrt{2}$
中心が-1+i, 半径が $\sqrt{2}$ の円